

幕張新都心モビリティコンソーシアム マイクロモビリティ PT
(第 2 回) 議事要旨

時間： 2022 年 10 月 6 日(木) 10:00～12:00
場所： オンライン開催
出席： OpenStreet 株式会社
株式会社 NTT ドコモ千葉支店
株式会社アイシン
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン
MS&AD インターリスク総研株式会社
株式会社建設技術研究所
シャープ株式会社
株式会社千葉ステーションビル
NTT コミュニケーションズ株式会社
千葉市
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

以上 (順不同)

議題

- (1) 第 1 回マイクロモビリティ PT の振り返り
- (2) 今年度実証実験の内容について
- (3) サービス利用時の課題解消策の具体化検討 (グループワーク)
- (4) モビリティステーションの具体化検討
 - ア. 話題提供:モビリティステーション活用事例および EV スクーターの普及促進について
 - イ. モビリティステーションの具体化検討 (グループワーク)

配布資料

- 資料 1 第 2 回マイクロモビリティ PT
資料 2 パーソナルモビリティ社会実装サポート事業 2022 年度実施予定内容(非公表)
資料 3 モビリティステーション活用事例及び EV スクーターの普及促進について(非公表)

議事内容

1. 開会

2. 議題

- (1) 第1回マイクロモビリティ PT の振り返り
 - 千葉市より資料1に沿って説明。
 - 第1回 PT のグループワークでは、来訪者の行動シナリオをもとにした検証項目の洗い出し、およびモビリティステーションの機能や内容に関するアイデア出しを実施。
 - 新駅開業時を前提とした来訪者の行動シナリオや検証項目の洗い出し
 - 来訪者のポジティブな感情として、移動の快適性や乗り捨てなどの利便性が挙げられた。
 - 来訪者のネガティブな感情として、そもそもの認知不足や利用への不安感・心理的ハードルの高さ、ユーザビリティの低さが挙げられた。
 - 検証項目として、主に広報・PR、料金設定、サービス機能、心理的不安の解消等が挙げられた。
 - モビリティステーションの機能や内容に関するアイデア出し
 - 主にモビリティの種類やモビリティステーションの広報・PR、利用者のニーズ・利便性、安全面等のリスク・課題対策、環境配慮・エネルギーに関するものが挙げられた。
- (2) 今年度実証実験の内容について
 - NTT コミュニケーションズ株式会社より資料2に沿って説明。
- (3) サービス利用時の課題解消策の具体化検討（グループワーク）

テーマ：前回 PT での検討内容を踏まえた、マイクロモビリティの社会実装に向けた課題解決の方向性について

 - ワークシートを活用したグループワークを実施。
- (4) モビリティステーションの具体化検討
 - ア. 話題提供：モビリティステーション活用事例およびEVスクーターの普及促進について
 - OpenStreet 株式会社より資料3に沿って説明。
 - イ. モビリティステーションの具体化検討（グループワーク）

テーマ： 前回 PT での検討内容を踏まえたモビリティステーションの設置に向けた実現性について

 - ワークシートを活用したグループワークを実施。

3. 連絡事項

■ 事務局より下記事項について説明

- 第2回 WG(中間まとめ報告会)が10月25日(火)10時~12時に開催されるため、ご参加いただきたい。
- モビリティステーションの視察会を10月下旬~11月下旬頃に開催する。
- 会員同士のコミュニケーションの場として Slack を活用いただきたい。

4. 閉会

以上